令和８年度　魅力ある市立高等学校づくり懇談会
意見のまとめ【概要版】

１　懇談会の概要

名古屋市立高校のあり方について多角的な視点から議論を行い、令和８年度中の策定を予定している「魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画」第３次計画の検討の参考とすることを目的として設置

委　　員　有識者・学校関係者・保護者代表等により構成
開催期間　令和８年７月～10月にかけて３回開催

２　市立高校が目指すもの

市立高校の役割

生徒の多様な進路や学習ニーズに応える
- ○多様な学びのスタイルの提供
- ○教育の質・機会の確保

名古屋市の発展を支える人材育成の基盤
- ○都市の発展、市の重要施策の実現
- ○名古屋で活躍する人材、名古屋に関わり続ける人材の育成

生徒育成の基本理念

ナゴヤ学びのコンパス
- ○自分に合ったペースや方法で学ぶ
- ○多様な人と学び合う
- ○夢中で探究する

育成したい資質
- ○自らの学びと進路を主体的に探究し切り拓く力
- ○多様な他者とともに学び、協働して課題を解決する力
- ○未来を創造し、イノベーションを起こせる力
- ○地域・社会とのつながりを大切にし、貢献する力

３　改革のビジョン

Vision1　都市の発展を実現する「戦略的な教育拠点」

➤都市の発展（国際化・デジタル化・先端技術など）の基盤となる教育
➤名古屋を拠点に世界へ飛躍する人材の育成

Vision2　名古屋の産業・文化を支える「人材育成拠点」

➤地域経済・産業と教育の接続　　➤市だからできる地域密着型の連携
➤社会と直結する実践的・探究的な学び

Vision3　多様な生徒を包摂する「都市型教育の中核」

➤学力、経済状況、国籍、進路志向など、多様な背景への対応
➤単なる受け皿ではなく、多様性を価値に変える教育拠点

4 各学科の方向性

普通科

各学校の特色化や役割の明確化

➤生徒の多様なニーズへの対応、個に応じた学びの実現

普通科の利点（多様な進路につながる基本的な学びの保障）も確保

想定される取組
- 単位制の導入
- 新学科への改編・コースの設定
- 探究的な学び・文理横断的な学びの拡充

専門学科

産学官連携の強化、探究的な学びの充実

➤実社会との接点の強化による専門性＋創造性の育成

社会ニーズに応じた内容への見直し

想定される取組
- 高大連携の強化、企業等とのパートナーシップの強化
- 現代的ニーズに基づく学科への再構築

総合学科

社会の変化や生徒の多様な進路希望に対応した主体的な学びの環境づくり

➤生徒の多様なニーズへの対応、個に応じた学びの実現

想定される取組
- 生徒の進路志向、市の重点施策等に応じた新たな系列の設置
- 地域や企業等と連携した実践的な学びの強化

定時制

学び方や学習機会の選択肢を広げる仕組みの検討

➤多様な背景を持つ生徒の学びの保障、多様なライフスタイルを持つ生徒が自らのペースで学ぶことができる仕組みへの発展

想定される取組
- 三部制への移行
- 学校間連携や通信制等の活用による履修方法の拡充

5 学びを支えるしくみ

視点「多様な学びの保障」「教育機会の拡充」

既存の学校・学科の枠組みや制度にとらわれず、多様な教育課程や学習形態を導入

想定される取組
- 中高一貫校
- 通信制の導入、活用
- 学びの多様化学校（コース）
- 学校の枠を越えた学びの強化

6 持続・発展のための体制づくり

市立高校の持続的な発展の実現のためには、教育内容の充実とあわせて、将来的な学校再編や学科再編等も視野に入れた改革を検討し、持続可能な体制を構築していくことが必要

「新しい学校を創る」前向きな発想	「知と機能の総和」を高める視点
市立高校全体を一体的な教育資源と捉える視点	これまでの伝統・特色等の継承・発展